



第625号

発行所

天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南8条西11丁目
電話 011 (561) 1148
FAX 011 (561) 1190
E-mail: tenrikyohk@gmail.com
ホームページ
<https://tenrikyohk.com>

教務支庁では、早朝より全道各地から、マイクロバスや乗用車等で、おつとめ奉仕者、参拝者が参集した。

管内教友が、次々と神殿を埋めていく中、支部長有志による奏楽の下、開扉・献饌がつとめられた。

午前10時、祭主奥村教区長及び祭司が神前に参進。親神様・教祖・祖霊様を礼拝。祭文奏上後、教区長は挨拶に立ち、「現



「もつと勇み しんじんを」をスローガンに掲げ、8月30日、教務支庁及び支部会場で「第3回北海道教区祭」を開催した。

第3回北海道教区祭



教務支庁舎が完成して丸32年を迎えました。落成式に於いて三代真柱様は、『教区活動の活発なることを願って建てられたものでありますので、骨折って建てて、建て甲斐があったと、振り返らせてもらうことの出来ま



を一つとめ、世の治まりを願って「おつとめ」をつとめるのであります。

教区祭がゴールではなく、教えを世の中に伝え広めることが大きな目的である。全道教信者が心を一つにし、まずは教区祭のおつとめを勇みに勇んでつとめさせていきたい。」と述べ、これまでの模様は、支部会場へもYouTubeにて配信された。

「世界の治まり」を祈念し、教務支庁では、13交代で、また支部会場にても役割を整え、座りつとめ、12下りのてをどりをつとめた。

おつとめ後、2名が感話に登壇した。

を一つとめ、世の治まりを願って「おつとめ」をつとめるのであります。

教区祭がゴールではなく、教えを世の中に伝え広めることが大きな目的である。全道教信者が心を一つにし、まずは教区祭のおつとめを勇みに勇んでつとめさせていきたい。」と述べ、これまでの模様は、支部会場へもYouTubeにて配信された。



北海道教区のホームページ〈<https://tenrikyohk.com>〉で教区報がご覧頂けます

(1Pの続き)



感話・齊藤氏

参加総数568名(教務支庁会場365名、支部会場203名)

樋口茂氏(山名大・平鹿分・ようぼく)は、妻の身上のたすかりを願い、布教活動を展開して歩む中で変化してゆく信仰への思いを披露した。

齊藤祐子氏(夕張大・東苗穂分・教会長夫人)は発達臨床心理士・公認心理士としても務める中、家族にお見せいただく事情や、お世話どりする方を通して、未

信仰だった自身の心に生まれたお道への向き合い方について話した。



感話・樋口氏

教区功労者合祀慰霊祭

9月2日、祖霊殿にて奥村教区長を祭主に、教区功労者の合祀慰霊祭がとめられ、第十四代教区長藤田文雄先生、元主事五十嵐仁先生、元宗谷支部長和田正雄先生、元紋別支部長渡邊國源先生の四柱の御霊を合祀させていただいた。

合祀慰霊祭後には、「功労者を偲ぶ会」が行われた。



少年会Y.Yキャンプ

少年会(大脇直丸団長)は、8月22日、千歳市の祝梅分教会キャンプ広場にて、ワンデーのYYキャンプが開催された。

昨年は、台風の影響で中止となったが、今年は快晴の中、多くの少年会員に参加していただくことができた。

開会式の後、広場にてスイカ割りやボール遊び、おつとめ練習を行った。

夕食では、自分たちの起こした火でご飯を炊き、美味しい力

ラーを味わい、笑顔あふれるひと時となった。

夕づとめ後のキャンプファイヤーでは、ゲームや歌などが行われ、子供たちの大きな歓声と笑顔に包まれた。

(参加者40名内少年会員19名、育成会員12名、スタッフ9名)



キャンプファイヤー



おつとめ練習



スイカ割り



歌でノリノリに

基礎講座

9月6日(日) 函館会場において、基礎講座を開催させて頂きました。

奥村尚人先生を講師に27名の方に受講頂きました。その内18名は初受講ということで、支部内におかれましても声掛けに力を入れて下さいましたことに感謝しております。

また、9月1日から7日は、教会長布教実動週間ということもあり、大勢の教会長の方々と共に基礎講座を受講して下さい



函館会場

ました。

教務支庁までの距離が遠い地域の方々は、札幌での受講が難しい現状にあります。一人でも多くの方におぼの風を届けることが出来るよう、事務局では地方での開催にも力を入れております。

次回開催は、11月1日(日) 小樽会場(天理教館)、11月29日(日) 教務支庁会場となっております。係員一同、ご受講を心よりお待ちしております。

(事務局長 佐藤元展)



学生会

●「夏休み行事」

学生会(野村夏実委員長)は、教務支庁で8月22日から23日にかけて、「夏休み行事」を開催。

夏休み期間に教理に触れ、学生同士が親睦を深める企画をメインに行われ、17名が参加した。

1日目は、お道の教理に触れてもらおうと「八つのほこり」についてトークング。続いておつとめ練習を行った。

2日目は、夏の行事らしく、晴天の下、水遊びやBBQを行い、学生同士の親睦を深めた。

「今回は、八つのほこりの勉強、水遊び、BBQと夏満載の行事



夏休み行事

になったと思います。

久しぶりの学生さんも初参加の学生さんも、互いに気を配り合いながら笑顔になれるような空気感があり、このような行事をまた作っていきたいです！」と野村委員長がコメントした。



アイスブレイク(ゲーム)

●道の学生ひのきしんデー

9月13日、道の学生ひのきしんデーが、天理教学生会主催で全国各地で開催され、北海道で



ゴミ拾い

は教務支庁を会場に学生5名が参加。

「感謝を溢れさせて陽気に勇もう！」とのスローガンのもと、教務支庁周辺のごみ拾いひのきしんを行った。

野村委員長は、「少数の参加者でしたが、一人ひとりが感謝



の心を持ってゴミ拾いに取り組むことが出来たのではないかと思います。

また、今回の行事である、おつとめ総会には、多くの学生さんの参加をお待ちしています！各支部、教会長の皆様には、学生へのお声掛けのご協力を頂けると幸いです。」とおつとめ総会の参加を呼びかけた。

定例にをいかけ

やまびこ会

布教を志す者の会「やまびこ会」では、9月16日、8名の教友がグループに分かれて、札幌市中央区の住宅街で、戸別訪問にまわり、布教活動を行った。

実動後に、教務支庁に戻り、にをいかけの振り返りや、日頃の布教についての意見交換が行われた。

参加者の一人Aさんは支部長をつとめており、昨年10月からやまびこ会に参加するようになった。以前から「一日一人に



戸別訪問

◆やまびこ会のご案内◆

布教を志す者の会として、にをいかけ活動を中心に実動しています。どなたでもご参加いただけます。

今回は、10月16日13時30分、教務支庁集合



声掛け」をする心を定めていたが、ますます勇んで布教に励んでいる中、このほど支部の婦人会が月に1度、布教日を設けて実動するようになったという。

「今は二人三人と少人数だが、自主的な動きがとても嬉しい」と地域活動を進める立場として喜びを披露された。

(代表 藤野充普)

新教会長さん紹介

(令和8年8月お運び)

上川支部 徳士分教会 (撫養) 奉告祭 10月10日



西山 恭一 氏 51 歳

支部総会報告

●北見支部 (渡邊道仁支部長) は、8月9日、華形分教会を会場に、支部総会を開催、45名が参加。



北見支部おつとめ総会

各地の動き

●北見支部婦人会 (中平由紀子主任) は、9月20日、仁頃分教会を会場に婦人会総会&みちのだい育み塾を開催。参加者32名。(婦人会員22名・少年会員・他10名)



総会は、座りづとめ・よろづよ八首をつとめた。

その後の「みちのだい育み塾」では、次の世代へ繋げるために、「婦人会員も共に伝える力をつけること・声をかけ続けること」を確認し、笑顔で次回の再会を誓った。

北海道教務支庁日誌抄

9月2日	支部長会議
9月4日	教区功労者合祀慰霊祭 功労者を偲ぶ会
9月5日	札幌中南支部例会 学生会例会
9月6日	しらゆき会例会 基礎講座函館会場 学生会のきしんデー
9月11日	しらゆき会例会
9月13日	教区長本 本部月次祭遥拝式 合唱団練習
9月25日	本部秋季霊祭
9月27日	しらゆき会例会
9月28日	全教一斉にをいかけデー (30日)
9月30日	教区長婦人 ためし推進会議

計報

立教一八九年・令和8年

- 高井 廣子様 8月7日出直 (91歳) 名寄太分教会前会長
- 北名寄分教会三代会長 (天塩支部)
- 大矢 光司様 8月26日出直 (77歳) 上旭川分教会長 (上川支部)
- 青木 正伸様 8月27日出直 (93歳) 江差分教会前会長 (渡島支部)
- 福井 道成様 8月28日出直 (76歳) 富原分教会長 (富良野支部)